



## 知名町総合防災訓練

8月30日から9月5日までの「防災週間」の期間における主たる行事として、9月1日(木)の「防災の日」に、役場・自衛隊・警察署・消防署・消防団による総合防災訓練が行われました。

今回の訓練は、3月に発生した東日本大震災を教訓に、住宅や商店街が海に最も近い小米字を対象に、地震による大津波を想定した避難訓練を行いました。住民は避難指示を受けて、町の避難所であるあしびの郷・ちなへ徒歩で向かいました。要援護者については、消防団や町のバスで避難所まで搬送しました。

訓練終了後は、消防署による防災講話や搬送方法・応急処置などの説明があり、身近にある毛布を使用した担架のつくり方では、メモをとる方などがおり、住民は真剣な表情で聞き入っていました。

## 町イチ! 村イチ! 2011

～町村から日本を元気にする～

開催日時 12月3日(土) 12:00～19:00  
12月4日(日) 10:00～17:00

開催場所 東京国際フォーラム展示ホール1  
 出展物 来月の広報ちなでお知らせします。  
 お問合せ先 知名町鹿児島事務所 村山  
 電話 099-206-1077

## "安心して出産できる環境づくり"に「ふるさとまちづくり基金」を活用

沖永良部島では、産科医師の高齢化や島内在住の医師の不足、分娩を取り扱う施設の減少等の状況があります。そのため、妊婦が島内で安心して出産できる環境を整え、地域ぐるみで支援することが必要となっています。このような現状をふまえ、妊婦検診や分娩介助など安心して出産できる環境づくりを図るため、産科医師を支援する「出産環境支援事業」を実施し、その財源の一部として「ふるさとまちづくり基金」を充てました。

ふるさとまちづくり基金は、平成20年度に「寄附を通じた新しい地方自治を確立し、地域の課題に対処することにより、次世代につながる個性豊かな活力あるまちづくり」を進めることを目的に創設され、本町出身者や本町を支援して下さる皆さんから多額のご寄附をいただきました。

基金の活用については、広報紙などに掲載し透明性を図ることが責務となっており、ふるさとまちづくり基金の状況及び支出状況をお知らせします。

今後とも寄附をいただいた皆さんの思いを大切にしながら活力あるまちづくりの実現を図ります。

### ■ふるさとまちづくり基金の状況

年度	寄附金額(円)	寄附者(人)	備考
平成20年	3,559,847	72	県内 4人 県外 68人
平成21年	3,885,952	54	県内 9人 県外 45人
平成22年	2,661,838	45	県内 8人 県外 37人
合計	10,107,637	171	県内 21人 県外 150人



※上記の寄附金額には、鹿児島県への寄附に基づく県交付金分及び利息も含む。

### ■支出額

平成22年度出産環境支援事業(産科医師への支援) 600,000円

■ふるさとまちづくり基金額 9,507,637円

※平成23年3月31日現在の基金額です。